



わしま

人口の動き

11月末現在
出生3人 死亡6人
転入9人 転出14人
世帯数 1,286世帯(+1)
男 2,793人(-4)
女 2,907人(-4)
計 5,700人(-8)



今年 寅年

「虎は千里を行って、千里を帰る」という諺があります。一般には、「勢いの盛んなこと」の例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。さて、その虎は何をしに千里の道をあわてて帰るのでしょうか。

実は、虎は自分の子供のことが心配で戻るのでいいです。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが、大変に子供を大切にするのでそうです。「虎の子」と言う言葉もこのあたりから来たのでしよう。

主な内容

- 2～3頁…年頭のあいさつ
- 4頁…第5回首都圏ふるさとわしま会総会
- 5頁…読者リレー
- 6頁…商工全地域ビジョンまとまる
- 7～17…「家庭の日」作文
- 18～19…ワシマスポット、村長室の黒板
- 20頁…ナイスカップル、温古知新

ナイスカップル

わたしが
選んだ人
選ばれた人

小林三好さん夫妻(城之丘)



昭和61年1月1日 第149号

今回は城之丘の小林三好さん(杉山工業和島工場勤務)三重さん(杉山工場本社勤務)夫妻です。(世帯主義雄さん)昭和五十六年秋に結婚されて現在、三歳三カ月の眞理子ちゃん、一歳四カ月の弘幸ちゃんと御両親の六人家族です。

—— 出合いは？
会社の若い人達(本社・和島工場合同)の集まりで知り合い四年位の交際期間があり五十六

年秋に結婚しました。
—— ダンナさんはどんな人？
酒もタバコもしませんと言いたいところですが、タバコの量が少し多いようです。ちょっと減らして欲しいですね。
—— 奥さんはどんな人？
子どもの面倒はよく見て優しい人ですが、夫の世話はまったく見てくれない女房です。
—— お互い点数をつけたら？
奥さんはダンナさんに50点
ダンナさんは奥さんに60点
—— 何か一言どうぞ
八幡橋にアールが欲しい(落水の滝から二番目の橋)また、小学校がもう少し近いといいですね。
……
ナイスカップルが始まって以来の点数……。なぜ点数が低いかと尋ねますと、今回のカップルさんに点数がつけやすいようにと配慮したとのこと。点数とはうら腹に、夫婦、子どもの会話は正月の楽しいゲームを思わせるような明るい家庭でした。

温故知新

塞の神



梅田入り谷

戦前までは、正月十五日の夜「さいの神」という火祭りがこの部落にも行われて、子供を中心にしての楽しみの一つであった。中心に松の木を立て、藁と竹等で丸形の塔にして縄で結いて作る。夜になると待ち兼ねて部落の人が集まり、火を付ける。勢よく燃え始めると、それぞれ書初に火を付けて上げて高く登るのを好しとした。そして其の余火で餅や鯛を焼いて食べると健康になるといわれていた。

昔宮中の清涼殿の庭で青竹を焼き書を其の火で焼き天に奉る儀式があり此を左義長と言った。俳句の季節にもなり江戸時代の俳句集に出ている。文政年間(約百七十年前)鈴木牧之の書いた「北越雪譜」に委しく書かれてあるから江戸中期から此の地方にも盛んに行なわれて居たものであろう。信仰の主体は宮中の

筆者の知っている所は下富岡中小島谷・高畑・日之浦・中沢・梅田・坂谷・落水・高月等その他まだ沢山あると思うが特に高月入口の小高い木立の中に三基もある。どの祠も同型のものである。そして附近にある民家の俗称を「さいのかみ」と言っている。どういいうきさつで祭られたか解らないが古くから伝えられた行事は守って行きたいものである。

久住熊三郎



日の浦寺谷



年頭のごあいさつ

和島村村長 清野 精合

明けましておめでとございます。御家族そろってよいお年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

今年の干支は丙寅であり、虎は千里の道を駆けてまた返ってくるといわれ、俊敏、気鋭、行動力に勝れ十二支の中でも特に珍重されている動物とされています。それにあやかっ活活に溢れたよい年であるよう皆様と共に頑張ってまいりたいと自戒している年明けであります。

昨年は立村三十周年という節目の年として之を祝い記念行事も取り行いました。また天候にも恵まれ五十九年に引続き史上稀な豊かな稔りの年となりました。然し十一月中旬の降り続いた冷雨のもたらした災害は意外

に深く村内各地にその爪跡を残しました。その復旧工事は本年から取りかかる計画であります。が謹んで被災者の方々にお見舞い申し上げます。

国の行革がらみできびしい歳入縮減を強いられた村の行財政も村民の皆様、議会各位の御理解と御協力によって当初の方針通り滞りなく執行してまいりました。統合保育所新築、無線施設全戸配置も完了し、十年を超える長期計画となる農村総合整備モデル事業も新しく着工することができました。

生活関連村道改良工事の原資として借入した村債も順調に計画通り償還をすすめ予定年度を早め本年を以て計画した公債費比率に到達することが確実であります。また村自らの行革を推

進する為に行政改革推進委員会の答申を受け、之を尊重し勇断を以て早速六十年からその一部を実施することいたしました。昭和六十二年度迄にはその全般に渡って実施する計画であります。之が推進に当っては広く村民のコンセンサスを得ながら実施する考えでありますので御理解御協力をお願いいたします。

現在計画推進中の新長期総合開発計画の前五カ年基本計画は本年を以て完了し、今年からは来年から後期五カ年計画に取組むこととなりますが、以上の観点をふまえて構想策定の予定であり村民の智慧を結集して高速交通時代に即した和島村の在り方を探り村の基本姿勢としたい考えであります。今住んでいる村民の幸せを第一として生活環境整備、村民所得の増収、教育文化スポーツの整備充実の調和ある姿を具現したいと思っております。

和して新年を迎え清新な装いと心を以て村行政の推進に当る所存であります。新幹線上野駅乗り入れ関越高速道の開通によって雪国の願望は一応達せられました。県においても予定せざる事後の問題も生じ之が対応を迫られておると同様に、わが村も出雲崎バイパスの一部が着工され、和島バイパスの一部工区についても本年前半に設計協議が行われるよう関係当局に陳情中であります。これらの新展開に合せて之に

対応してまいる所存であります。ふるさと和島村の皆様、新年明けましておめでとございます。旧年中は、私共「首都圏ふるさとわしま会」に対して格別なご高配を賜り、誠に有難うございました。当会も満五周年を迎え、なんとか一人歩きが出来るまでになりましたがこれも偏りに郷土の皆様のご支援と、ふるさとを心から愛する会員の力添えの賜と深く感謝致しております。昨年は郷土和島村立村三十周年、誠におめでとございました。思い起せば立村当時は戦後の混乱の時期であり、政治的にも社会的にも極めて不安定な時代であって今日とは隔世の感があつたと記憶しております。あれから三十年、歴代村長さんをはじめ村当局、村民の皆様方の計り知れないご苦勞や幾多の



年頭のごあいさつ

和島村議会議長

久須美 逸郎

明けましておめでとございます。村民の皆様輝かしい新春の夜明けを迎えられ謹しんでお慶び申し上げます。

何度新年を迎えても都度何か心を洗われたような清々しい気分に分まれる新春、私は議長就任からこれまで議会の円滑な運営と村政の進展を第一義としてまいりましたが以来三度新年のご挨拶ができましたことは偏に皆様のご支援ご協力の賜ものご心から感謝の意を表する次第であります。

昨年は立村三十周年の意義ある記念すべき年でありました。時代の要求に応じて歴史は綴られ先人の努力が実って立派な村づくりができました。しかし、二十一世紀に向けて

展望するとき生活に密着した基盤を完全なものにするためには幾多の問題が山積し、さらには現下の課題も含め真剣にとりくむ覚悟を新たにし、これらを一一つ着実に解決してゆくことが議会人としての責任と義務であると信じます。そして限られた村財政の範囲内で最大限皆様の付託にこたえるべく議会一同心を一つにして職責を全うするよう努力する所存であります。どうか昨年にも増して変わらぬご支援ご協力をお願いすると共に、この一年も皆様のご多幸をお祈り申し上げ議会を代表して新年のご挨拶といたします。



新年あいさつ

首都圏ふるさとわしま会会長

宮田 精一

ふるさと和島村の皆様、新年明けましておめでとございます。旧年中は、私共「首都圏ふるさとわしま会」に対して格別なご高配を賜り、誠に有難うございました。当会も満五周年を迎え、なんとか一人歩きが出来るまでになりましたがこれも偏りに郷土の皆様のご支援と、ふるさとを心から愛する会員の力添えの賜と深く感謝致しております。昨年は郷土和島村立村三十周年、誠におめでとございました。思い起せば立村当時は戦後の混乱の時期であり、政治的にも社会的にも極めて不安定な時代であって今日とは隔世の感があつたと記憶しております。あれから三十年、歴代村長さんをはじめ村当局、村民の皆様方の計り知れないご苦勞や幾多の

紆余曲折の道であつたとご推察申し上げますが兎にも角にも郷土が着実に発展され、今日の隆盛を築かれ迎えられたことは、村民の皆様様の喜びだけでなく郷土をもつ首都圏で生活する私共にとっても大きな励みであり喜びでもあります。これを契機に更に発展されんことをご期待申し上げます。尚昨年は郷土新潟より上野新幹線の直通と同時に関越自動車道路の全通誠にふるさとが間近になつて重ね重ねのうれしい年でした。今後尚一層ふるさとを愛する輪を広げる所存です。来年も同様ご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。おわりに、ふるさと和島村の益々のご発展を心より祈念しまして年頭のご挨拶と致します。

昨年は立村三十周年の意義ある記念すべき年でありました。時代の要求に応じて歴史は綴られ先人の努力が実って立派な村づくりができました。しかし、二十一世紀に向けて



第5回 首都圏



わしま二世も出席



「ブーブー!」毎朝、父が
ならずクラクションの音を聞
いて私の一日が始まります。
就職してようやく三年が過
ぎようとしています。最初の
頃は、毎日毎日仕事を覚える
ための勉強ばかりで、物覚え
の悪い自分に腹が立ち、その
反面早く仕事をしたいとい
う気持ちで、何度も何度も会
社をやめようと考えていま
した。そんな時に私のことを支
えてくれたのは両親でした。「も
う少し、がんばってみろ。」た

輪の友情を広げよう 読者リレー

われら仲間シリーズ(32) 両親へ

阿部智恵子さん(上 桐)

だ一言だけれど、あの頃の私
には大きな力になりました。
「本当にありがとう。」
そんなふうに悩んでいたこと
も三年も過ぎれば、もう遠い昔
のことのようです。今は私なり
に仕事に対して充実していま
す。あの頃、両親に支えられて
がんばってきたことが今まで
いろんな事があっても乗り越
えられてきた大きな自信とな
っているような気がします。
私も、もう二十一歳です。
今まで仕事のことだけで心配
してくれた両親が、もっと違
うことでちょっぴり寂しい思
いをして心配する日が来るこ
ともそう遠くはないんだなあ
と思う今日この頃です。「お
父さん、毎朝、クラクション
をならしているうちは、まだ
まだ、大丈夫ですよ。」
次回は、日野浦の久住勉さ
んを紹介します。

手をかそうちっちな子供とお年寄り

ふるさとわしま会総会



あのねエー



カラオケの競演



宮田会長

カギかけは、家族みんなの合言葉

今年で五回目を迎えた「首都圏ふるさとわしま会」の総会が十一月二十四日(日)東京目黒の「雅叙園観光ホテル」で開催されました。
当日は百三十名程度の会員の方々が出席され、村からは村長、副議長、商工会長、島田、桐島両地区農協組合長、久須美・池浦両酒造会社社長等が出席され、宮田会長、早川名誉会長のあいさつのあと村長、副議長の祝辞があり懇親会に移りました。出身地区ごとにテーブルを囲み、どのテーブルにも楽しい光景が見られ話に花が咲き懇親会の時間をホテルから延長してもらいカラオケや詩吟ダンスを交え、自慢の披露もあり盛会のうちに万歳三唱となりました。
閉会後は、両農協と商工会を通じ両酒造会社で用意していただいた故郷のお酒とコシヒカリのお米を土産として一人ひとりに配られ故郷のかけがえのない思い出を胸に来年の再会を誓い解散いたしました。

家庭の日の作文

和島村教育委員会
和島村青少年育成村民会議
和島村保護司会

ぼくのおとうさんは、ひょうぐやをしています。
まい日やぶれてぼろぼろなかみをなおして、かけじくにしたり、がくをつくったり、しよじをはりかえたり、ときどきまきものをつくったりもします。
おとうさんの手にかかるとうんなふるくてぼろぼろになったものでもきれいにしあがり、まるで、まほうでもかけてやっているみたいですよ。どうしてそんなにうまくひょうぐができるようになったのかふしぎにおもって、おとうさんにきいてみたらこうはなしてくれました。おじいさんもひょうぐをしていたので、まい日そのしごとを見ているうちにすきになり、おじいさんからおしえてもらってやっとできるようになったそうです。
手さきのこまかいしごとなので、さいしよはなかなかうまくできなくて、やめようとおもったこともあったけど、できあがったしなものを見て、「よくできたね、ありがとう」とよろこん



おじいちゃんからがらみ

桐島小一年 やぎ ひろゆき

でもらえることがうれしくてがらみばってきたし、これからもがらみばるそうです。ほんとにがらみばりやおとうさんだなおもいました。

きこのよる、おかあさんがつけものをつけていました。「てっだって。」
というので、むしのついでにはくさいのはつばをとってやりました。そのあと、おかあさんといっしょにおふろにはいりました。おふろからあがってきて、おかあさんが
「もうちよつとおてつだいをして。」
といったので、おてつだいをしました。よるの九じまでおきていました。おわたたかなとおもったら、
「またてっだって。」
というので、またてっだってや



はくさいつげ

島田小一年 おやまつよしこ

わたしは、いいました。
「おかあさんも、あんまりやすまずにがらばろうよ。だからはやくできないんだよ。はやくやるのは、やすまないでやるのがほんとなんだよ。おかあさんがらばればすぐできるよ。がらばろうよ。おかあさん、はやくやれば、おそくなつたって、そのうちにはやくおわるから、がらばろうよね。」
おかあさんは、はくさいにしおをふって、いっしよけんめいつけていました。
「おかあさんもわたしもがらばっているんだから、はやくできるんじゃないの。はやくやっ



和島村商工会

地域ビジョン(案)まとまる!!

昭和六十年度経営改善事業として商工会では通産省、村から補助金をもらいこの報告書を作成されました。ここに紹介します。

この商工会地域ビジョン作成事業は、地域の活性化を目的に産業、観光の振興をさぐると共に、具体的な実現のための方策を考えたものです。

具体的な提案を一つでも多く、そして広く住民の方々の声を取り入れ、しかもユニークな型での報告書づくりをという意図のもとに作業が進められてきました。

しかし、時間的な制約等もあり、当初の目的を果たせたか、どうかの疑問は残りますが、この報告書を支えて下さった「懇談会」での熱心な討議、小中学生から提出いただきました「絵や作文」村民の皆様に回答をいただいた「住民調査アンケート」等々、また「作成委員会」「実行委員会」の前向きな姿勢の中に、今後の和島村の「むらづく

り」に対する並々ならぬ関心が日ごと高まっている事を痛感し、その関心の高まりに、いわば触発される形でこの報告書の概要ができあがりしました。

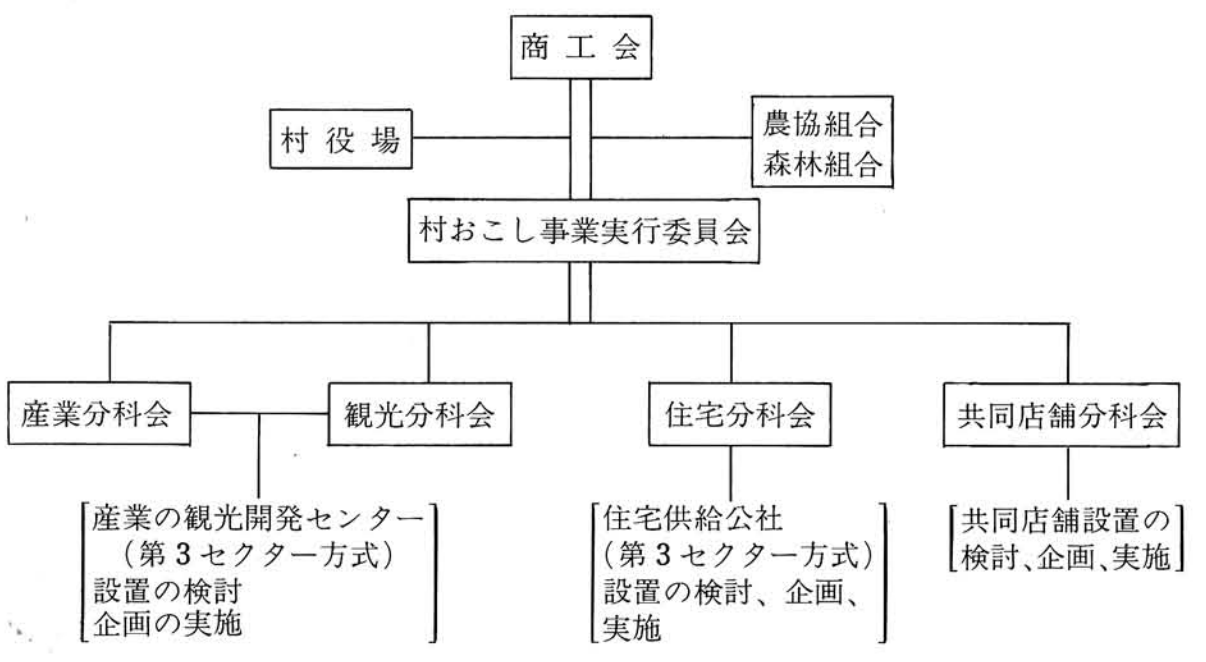
報告書はB5版で、ページ数は約百五十で総論、第二部、第三部構成となっております。総論ではビジョン作成事業の概要、特にビジョン作成の意義と目的、及び基本目標と基本方針について示してあります。



第二部では「健康で活力あるふれあいのある村づくりをめざして」をテーマに和島村の農業、工業、商業、観光の現況と問題点について検討を加え、振興の方策を体系図に示し、それぞれに具体的な提案をにかけてあります。

この報告書作成については、村民、及び村行政、農協、森林組合など数多くの方々から御協力をいただきました。

和島村5ヵ年計画「村おこし事業」の組織と内容



て、はやくねればあしたもがんばれるよ。ね。おかあさん、ほんとかたてば、ほんとね。おかあさんきいてる、ねえ。おかあさんわたしがついてるの。おかあさんきいてるの。」
とわたしがいきました。そうするとおかあさんが

だいこんとり



桐島小二年 北谷 多恵子



この前の日曜日にかぞくぜんいでだいこんとりをしました。わたしとおかあさんとおばあちゃんは、だいこんをぬくかかりをしました。そして、おじいちゃんとおつしおにいちゃんとおおしおにいちゃんは、だいこんをはこぶかりをしました。わたしははっぱをもって、力を入れて引きぬきました。おかあさんとおばあちゃんもいっぱいぬきました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

また、たくさんお手つだいをして、おじいちゃんやおばあちゃん、お母さんをたすけてやろうと思いましたが。



「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

たのしい夜



島田小二年 北谷 理

夕方、しよくじがおおると、おかあさんが「少しあそぼうか。」といいました。ぼくは、すぐに「うん。」とへんじをしました。のぞきも「うん、あそぼう。」といいました。「そのかわり、ちよちよだよ。」と、おかあさん

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

お母さんの小さくあそび



桐島小三年 阿部 晴海



「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。

「はいきていますよ。もうちよつとおわるから、がんばろうね。」
といて、もうすこしのはくさいをつけました。
やっとおわつたら、おかあさんとおつしよに二かいへいってねました。



家でくできょう力したいねかり

島田小三年 西野 聡子

わたしは、今年の秋、家のいねかりの手つだいをしました。お父さんは、お米を運んでこううんきにのせ、家まで持っていく仕事、おじいさんはコンパインでいねをかる仕事、わたしと弟とおにいちゃんとおばあちゃん、コンパインがまがれるように、かまで田んぼのかどのいねをかる仕事をしました。わたしと弟は、いねもかまも大きいので、なかなかじょうずにできませんでした。でも、いっしょうけんめい、あせがでるほどがんばりました。わたしはやる仕事が終わると、今度はお米の入ったふくろをこううんきにのせました。これも、とても重くてたいへんでした。お父さんが、重くてもせつせと運んでいるのを見て、わたしもなまけていられないと思いました。それに、おじいちゃんがおばあちゃんも、毎日の畑、田んぼの仕事でつかれているのに、いっしょうけんめいでした。



白菜取り・大根取り

桐島小四年 近藤 卓也

お昼になって、お母さんがお

べん当やジュースを持ってきてくれたので、みんなで食べました。とてもおいしかったです。いねかりを夕方までやって、それから家に帰りました。少し休んでから、わたしは、お父さんのかたをたいたい、こしの弟は、おばあちゃんとお母さんにかたたきをしてやって、おにいちゃんはおじいちゃんに、かたたきをしてあげました。お父さんは、いい気もちだと言ってくれました。

ついでに、お父さんが、夕はんの時、お父さんが、「きょうはたすかつたよ。手つだつてくれて。」と言いました。「あしたは、聡子たちは学校だし、お父さんは会社だし、きょうがんばってくれて本当にたすかつたよ。」とおじいちゃんも言いました。わたしと弟とおにいちゃん、たいしてやくに立たなかつたけど、手つだつてよかつたなあと思いました。

あちゃんは、またいねかりをしなければなりません。一日のお手つだいでこんなにつかれたのに、おじいちゃんたちは休みなしです。本当にいねかりはたいへんな仕事です。わたしは、おじいちゃんたちがたおれないといいなあと思いました。家族でたすけ合ったり、きょう力したりすることが大切なことなんだなと思いました。



あたたかい家族

島田小四年 小林 里花

ているところに着きました。まだまだ歩きたいのだけれど、転ぶので、しんちように小ままたで早くいきました。

そして、お母さんが、「もうこんなたつていっけ、下でまつてれ。」といったので、ぼくはふくろにはいっている白菜をトラックに積むと待っていました。しばらくするとお母さんとおじいさんがきました。そして、すこしたつとおばあちゃんが来

ました。そして、いったん家に帰って白菜を日かげのところにおきました。全部おき終わると今度は大根取りに行きました。着くともうおじいさんがいました。そして、ぼくが大根をぬくと今度は、あらいました。大根あらいはすぐ終わりました。そして、家に行くまえに市でたいやきを買ってもらいました。白菜取りや大根取りをしておな

かですいていたのか、とてもおいしく感じました。



私の家は、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、おにいちゃん、私の六人家族です。お父さんは、つばめの杉山工業で働いています。お母さんは、和島村の杉山工業で働いています。おばあちゃんは、家の仕事をしています。おじいちゃんは、写真をとるのが大好きなので、私や、おにいちゃんたちの行事があるたびに、写真をとってくれます。おにいちゃんは、ほくしん中学校の一年生です。おばあちゃんは、私が帰って

くる時までには、かならず夕食の用意をしています。そして、お父さん、お母さんが帰ってきて、みんながそろつと夕食をはじめます。するといつもお母さんが一番さきに、「これ、おいしいねえ。」と言います。「本当だ、これ、おいしい。」と言います。そして夕食がおわると、みんなが、「ごちそうさまでした。おいしかったです。」

でも、ただの「ごちそうさま」よりは「おいしいねえ」というのをついでに「ごちそうさまでした。」といつもいっしょに家族のあいだでも、小さなことでも、かんしゃの気持ちをもつのは、大切なことだと思います。そして、夕食がおわるとみんながテレビを見ながら、くつろぐ時です。わたしとおにいちゃん

ラグラ」とおなかがいなくなるほど、わらう時もあります。少したつと、公ほう和島のスピーカーから「料理一口メモの時間です。」と言つと、おばあちゃん、「あつはじまつたぞ。」と言つてスピーカーの所へ行つていきながらメモをしています。そして、メモを書きおわると、テレビを見ます。これが、おばあちゃんの日かです。すると、おじいちゃんのスリッパの音が、パタパタと音を出して、戸がカタツとあいて、おじいちゃんが「けんや新聞見てくれや。」と言いにきます。おにいちゃんが、「チャンバラさがすの。」といつて新聞を広げて見ます。おにいちゃんの仕事は、おじいちゃんのチャンネルがしのようです。おじいちゃんはチャンネルをきくと、戸をカタツとして、またスリッパをパタパタと音をたててへやへ行きます。家では、小さいことだけれど、それぞれの人が家族のだからのやくにたつていているのです。

お父さんは、宿題がわからないと、ていねいにおしえてくれます。おにいちゃんはなんでも、私のふんまでのこしてしてくれたり、買ってくれたりします。だから、私の家の人はとっても大好きです。だけど、たまにおにいちゃんや、お父さんが少しおこります。その時は私はだまつています。だけど、すぐ、みんなケロリとなおります。家では、みんなすきかつたことを言つて、たまにはけんかもしますが、それは、家族がなかのよいしょうこだし、けんかをするのは、心がわかりあえていけると言う安心があるからだと思います。わたしは、このような明るくて、心がやすまる家庭に生まれて本当に幸せだと思います。いつまでも、家族みんなで、家庭のあたたかさを、守つていきたいなと思いました。





私の家族

桐島小五年 木村由佳

私の家族は、ほとんどの友達の家とちがって、おじいさん、おばあさんがいなく、父・母・姉・兄・私の五大家族で、すぐ近くにおばさんが住んでいます。みんな元気でしあわせだと思っています。

私の家は、「家庭の日」といってもべつになにもしません。友達の家では、日曜になるとどこかへつれてつてもらっているようですが、私の家はさまじかつれてつてくれません。けれど私は、どこかへ行くことだけが「家庭の日」ということではないので、つれてつてももらえなくてもいいです。それに、お父さん、お母さんは、一週間も昼間働いて夜になるとお母さんは、家の仕事で大変なので日曜日は、仕事のつかれをとって、月曜日からは、また家族のために、一生けん命働いてほしいと思っています。

私のお父さんは、柏崎で測量や設計の仕事をしています。とても大変だと思います。

お父さんは、お酒は飲みませんが、たばこをすいます。しかし、ねる時はせつたいすいます。それは、むかし祖母が「ねる時つて、火事になると大変だから、ねる時だけはすつてはいけない。」と言われたからだそうです。

パチンコやマージャンが好きで、事務所への帰りにつけてきて夜おそく帰ってくることもありつます。

私は「あんなのどこがおもしろいのかな。」と思います。仕事でつかれている時に好きなことをやると、つかれがちよつぴりされるのかもしれない。

たまに、私はお父さんとケンカをしますがやつぱり私が悪いのだと思うので、ケンカはやめようと思います。

お母さんは、保育園につめています。

私は小さいころ、小さい子供と楽しそうにお遊ばや歌を歌つたりするお母さんを見て、「私も保育園の先生になりたいな。」

お母さんは、少し病気がかかっているのになかなか仕事は、できないけどがんばつてやつてくれています。とくにぬいもの

が上ずです。ぞうきんやぶれた衣服をぬつてくれています。そうじや悪い所などを注意してくれつます。でも、少し人にたよ

りすぎてゐる所がお母さんの悪い所です。わたしのお母さんは、病気のことを除けばふつうの家のお母さんだとわたしは思つて

います。

わたしは、あまり仕事が好き

じゃありません。だから、これ

やつてといつてもなかなかでき

ません。それに、自分からしよ

ます。その野菜を食べる時、「この野菜は、お母さんやおばちゃんが生けん命つたのか。」と

思います。

私お家の仕事は手伝いますが、おもしろいテレビなどがあると

やつぱりお母さんにまかせてしま

います。「ひまな時は、いわ

れなくても、できるだけ手伝

う。」と思います。でも、「私だ

けじゃなく、みんなが分担して

手伝いをするなど、みんなが協

力しなければいけない。」と思

つます。

姉ちゃんは、今家にいません。

大学生なので新潟にいます。た

まにしか帰つてこないのつ、た

まに帰つてくると、とてもうれ

しいです。それなのにけんかを

してしまつます。なぜかわから

ないんだけど、そうなのつです。

私が年が一番小さいんだから、

ケンカなんてしてはいけません。

思うんだけど、してしまつます。

兄ちゃんともそうつです。毎日顔

をあわせてゐるせいか、姉ちゃんよりいっぱいします。一日一回はします。「やつぱり私が悪いのかな。」と思います。

私がお家の仕事は手伝いますが、おもしろいテレビなどがあると

やつぱりお母さんにまかせてしま

います。「ひまな時は、いわ

れなくても、できるだけ手伝

う。」と思います。でも、「私だ

けじゃなく、みんなが分担して

手伝いをするなど、みんなが協

力しなければいけない。」と思

つます。

姉ちゃんは、今家にいません。

大学生なので新潟にいます。た

まにしか帰つてこないのつ、た

まに帰つてくると、とてもうれ

しいです。それなのにけんかを

してしまつます。なぜかわから

ないんだけど、そうなのつです。

私が年が一番小さいんだから、

ケンカなんてしてはいけません。

思うんだけど、してしまつます。

兄ちゃんともそうつです。毎日顔

をあわせてゐるせいか、姉ちゃんよりいっぱいします。一日一回はします。「やつぱり私が悪いのかな。」と思います。

私がお家の仕事は手伝いますが、おもしろいテレビなどがあると

やつぱりお母さんにまかせてしま



おぼんに実家へ行ったこと

桐島小六年 中村良二

お父さんは、お酒は飲みませんが、たばこをすいます。しかし、ねる時はせつたいすいます。それは、むかし祖母が「ねる時つて、火事になると大変だから、ねる時だけはすつてはいけない。」と言われたからだそうです。

パチンコやマージャンが好きで、事務所への帰りにつけてきて夜おそく帰ってくることもありつます。

私は「あんなのどこがおもしろいのかな。」と思います。仕事でつかれている時に好きなことをやると、つかれがちよつぴりされるのかもしれない。

たまに、私はお父さんとケンカをしますがやつぱり私が悪いのだと思うので、ケンカはやめようと思います。

お母さんは、保育園につめています。

私は小さいころ、小さい子供と楽しそうにお遊ばや歌を歌つたりするお母さんを見て、「私も保育園の先生になりたいな。」

お母さんは、少し病気がかかっているのになかなか仕事は、できないけどがんばつてやつてくれています。とくにぬいもの

が上ずです。ぞうきんやぶれた衣服をぬつてくれています。そうじや悪い所などを注意してくれつます。でも、少し人にたよ

りすぎてゐる所がお母さんの悪い所です。わたしのお母さんは、病気のことを除けばふつうの家のお母さんだとわたしは思つて

います。

わたしは、あまり仕事が好き

じゃありません。だから、これ

やつてといつてもなかなかでき

ません。それに、自分からしよ

度から自分で、お手つだいやあ

まりしかられないようにしてが

んぱりたいと思います。

この中で一番お父さんがつか

れています。朝八時ぐらいから、

夜中まで働いてゐるからつです。それに、休みの日も少し休んで

からまた仕事があるからつです。

でした。すぐ服を着がえて朝ごはんをしつかりとりました。次に車を運転する父がそのうち起きてきました。父は歯をみがきにいったので「そうか、ほくもみがこう。」と思つて歯をみがきにいききました。これではくの仕事はつりです。そして兄が、四時四十五分ごろに起きてすぐ着がえたとつ思うと朝食をいっしょにとり、すぐ歯をみがきに行きました。そんなことをしてゐるうちに母がお弁当をつくり終つていました。服をきがえてあつてその上になだ、エプロンをしていました。ほくは、「母はだ

花をかぎって、線香とロウソクに火をつけて墓に参りました。「今までお墓参りなどに行ったことがなかったので、ずいぶんときれいになったなあ」と感心しました。次にいった墓は、だ

食べました。そして、いろいろカニなども食べた話をしていました。午後の三時三十分になつたので、その家の人にさようならをして、家にいそいで帰りました。

心にした。旅行は、夏休みでも、一番心にした。旅行は、夏休みでも、一番心にした。旅行は、夏休みでも、一番心にした。



お父さんの日曜日

島田小六年 久住 由紀子

私の家の日曜日は、ふつうの日曜とちがいます。それは、私のお父さんは、タクシーにつとめています。だからみんなのお父さんとちがって、日曜でも仕事に行きます。家ぞくいっしょ

でくれたり、話しあい手になってくれます。去年の秋は、りよ行につれていってくれました。

レビを見ているときも、夕食のときは、ナベやスキヤキなどを

会話もいつもよりずっと楽しくなります。夜テレビを見ているときは、こたつに入ってみなで話ししたりします。

いつものやさしいお父さんが変わった人みたいにおこります。でもよけいなことまで言わないし、「こんどから気をつけて、やってみろ。でもやらなかったら、げんこつだぞ。」などとおこりま

外に出て仕事をしたり、田んぼにいったりします。そういうことを考えると、お父さんには日曜日というのは、ないのだと思います。でもお父さんにとって

雪車の震動で、腹が痛くなったと言った。母は、病院に行つた方がいんじゃないのと言つた。母は、ただの疲れだと言つて、なかなか病院へは行かなか

が、どたばた歩くと父が、「ともお、もう少し静かに歩かんねかあ」と言う。ぼくは、しかたなく父の言うとうりにする。



父の病氣

北辰中一年 久住 知也



それは、二月の事だった。吹雪が窓をたたき、夕方、父は腹をかかえて玄関に入つてきた。母が大声で、「どうしたんだいね」と言った。そんな声をきいて、ぼくをはじめ、家族みんなが父のまわりにあつまった。

雪車の震動で、腹が痛くなったと言った。母は、病院に行つた方がいんじゃないのと言つた。母は、ただの疲れだと言つて、なかなか病院へは行かなか

が、どたばた歩くと父が、「ともお、もう少し静かに歩かんねかあ」と言う。ぼくは、しかたなく父の言うとうりにする。

ぜみの声が家の中に響いた。夕日は、山にしずみ、そのうち、あたりは暗くなってきた。その夜は家族みんなの声はなかった。それから一週間たつて、ぼくと母と兄で父のところへ行つた。

に、家族みんなまで、ご飯を食べた。何か月ぶりかたつた。それから、ぼくと父は、おふろに入つた。「ともお、ひさしぶりに背中みかいてくんねかのう」と父が言った。「うん」そう言つて父の背中の前に立ち、力いっ

よこになった。母が、「また、どこかが痛むんだかね」と、しつこく聞くが、父はただ「はあはあ」息ばかりついてた。翌日、父は、兄と母らによつて、近くの杉木医院へ行き、薬をも

かわいそうな気がする。すぐなおればいいなあ。父や家族みんながそう思っている。その後の父の病は、良い方はいかず、ますます悪くなって行くようだった。外の寒さが、ますます厳しくなる。そんなある日、ぼく

入るところには、折りたたんだふとんがあるだけだった。急いで別の部屋へ行くと言つた。母は、ぼくの顔を見ると「ああ、おかえり」といった。「お父さんは」と聞くと、「病院へ行つたんだよ」と言つた。あたりは静まりかえり、ただ、かなかな

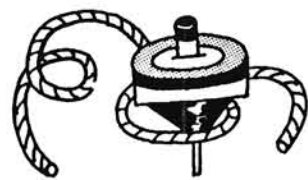
に、家族みんなまで、ご飯を食べた。何か月ぶりかたつた。それから、ぼくと父は、おふろに入つた。「ともお、ひさしぶりに背中みかいてくんねかのう」と父が言った。「うん」そう言つて父の背中の前に立ち、力いっ

父のいない日が何日も何日も続いた。そんなある日、父から突然電話がかかってきた。その内容は、病院から退院できる喜びの電話だった。でも母は、父を疑って、「たぶん、うそをついているのではないか」と言っ

だが、これは、うそではなかった。つぎの日、父が病院から、退院して来た。母は、「おめさんほうとうに、退院してきたんだかいね」と驚いていると、父は少しおこったようで、「病院の先生が、退院してもいいと、いったんだいや」と、どなって言った。母は、少しきよとんとして、にが笑いをした。あれから、父は兄と一緒に仕事をしたり、できるようになった。でも、たまに少し腹がいたむなどと、言っている。

家族の中心である父、これからも、いつ、どこかで災厄の事

態にたたされるかもしれないが、これからも、健康で長生きしてもらいたい。家族みんなが、そう思っている。



おばあさん

北辰中二年 久住 淳

我が家のおばあさんは、元気です。しかし、寝たきりの老人である。前はよく、僕のめんどうはもちろん、家事、洗たくなどいろいろとしてくれました。でも、現在は、僕をよんで話しをしてくれます。十日ほど前には同じことをずっといきました。その一つは、戦争（第二次世界大戦中）のことや、おじいさんのことなどを話してくれました。

「うちのじいじは、戦争に行き、無事に家に帰ってきいや。直江津に行ったときは、たいへんじやったんだぞ。これから直江津まで、アカ」（現在の父）をおぶって歩いていった。じいじは、島田農協で働いたよ。あのころの時代、まだまだ、まぶしかつたからのオー。今はもどどこにいくのもバスや汽車、隣り町に行くのもバスや汽車だ

なことを聞かされているからかもしれないが、「生活が変わってきた」という。確かにそうかもしれない。自分は、一人部屋をもっている。が、昔は一人部屋などは、もたされず、家族そろっていたという。そこで、まず、昔のこととちがったこと（生活など）を、話し合いたいと思ふ。僕が家の人たちといつしよにいるときは、せいぜき夕食のときの七時ごろから九時ごろくらいまでである。テレビなどを見おわり、自分の部屋へ行き、本や何かをして遊んでいます。やはり、昔の人たちのように、たえず話などをしていた方がよいのだろうか。テレビを見終り、二階に上がると、きまつてもないが、おばあさんは、僕をよび出す。ほとんど毎日毎日なので、おばあさんの部屋に行くのも聞くのも気が引け、行かないこともある。たまに行くこと、今日は、学校で何かおかしなことでもあったか。とか、「先生には、しかられなかつたか。」などと聞く。ひまなときは、むしろ僕の方から、聞きに行く。そのときのおばあさん

気なおばあさん、しかし、寝たきりだが、少なくとも二、三十年は生きのびるだろう。そして、また、話しをきかせてほしい。今よりも、もっともつとおもしろい話を聞かせてもらいたい。



お袋のけが

北辰中三年 大矢 光 男



「今日はおまんの番だぞ。」と兄貴にいわれ、ただぼう然とテレビを見ていた自分は、数秒の間をおいて、こたつから出た。ゴムホースを水道につなぐ。右手にはスポンジ、左手には中性洗剤。もう冬らしくなつた季節に、冷たい水道の水が手にしみとおる。「秋も終わるか。」ふと思う。数分すると手の感覚がなくなり、水の冷たさを忘れてしまう。最後に水で洗剤を洗い流す。ゴムホースをはずす。ゴムせんをしてから、蛇口をひねる。こたつに入る。ここ二週間、兄貴と自分で、交替交替に風呂の準備をしている。

時計の針が六時をさす。音が鳴りだす。古めかしく、重々しう。それでいてどこか哀しい。それがいてどこか哀しい。

げな。数分たつ。外から車の音が聴こえる。が聴こえる。あの雨の日に泣けた君は、ああ、ましき。親父が帰ってきた。手には白いビニール袋をもっている。今夜の夕食のおかずが入っている。中を見なくても、見当がつく。自分は、昨日から洗いざらしになつている食器を片づける。なべに水を入れコンロにかける。点火する。親父が買ってきたインスタントカレーを温めるためである。数分待つ。それから、夕食がはじまる。今夜のおかずは、ポテトサラダ、缶詰（さけの）、それとインスタントカレー。十五分もすると、ひそかな晩さんは、一言も告げずに終わる。それぞ

れが、自分の使った食器をもつていく。もちろん洗うためである。お袋のやつは兄貴が洗う。洗い終わると、こたつに入れる。今までは、あまり手伝いなんかしたことのない自分が、何故こんなことになつたのか。そう、あれは二週間前の朝のことだった。いつものような朝を迎え、いつものようにベッドが自分から起きあがり、あつまちがえた。いつものような朝を迎え、いつものようにベッドから起きあがった。いつものようにハンガーから制服をとり、いつものように時間割を合わせ、いつものようにメンズムースで長い髪を整える。そしていつものよう

に鞆を持って茶の間へと行く。いつものない親父が、何故か今日はそこにいた。「母さんが倒れたから、今日から自分のことは自分でしろよ。」この言葉は、自分にとって、さほどショックではなかつた。まだ意識がはっきりしてないせいか、それとも……。医者がいうことには、お袋は単なる低血圧だった。が、倒れたときに首を強打し、骨にひびが入つたらしい。その日から、お袋は首にコルセットをはめている。ざつとこういうことである。今まで、つまり、この世に生を受けてから十五年、あまり苦労を知らず育つてきた。小学五年生ごろから自立心に目覚めたが、何一つできなかつた。そして今、お袋がこんなふうになつてしまふ、自分で自分の身のまわりのことをするようになった。そして、お袋がいなくても、結構やっていたけるものだと思ふ。何だか安心できたようだ。自分も十五歳。昔でいえば立派な大人。もう自立できるころだと思ふ。お袋がけがをしたおかげで、何かいい経験をしたような気が



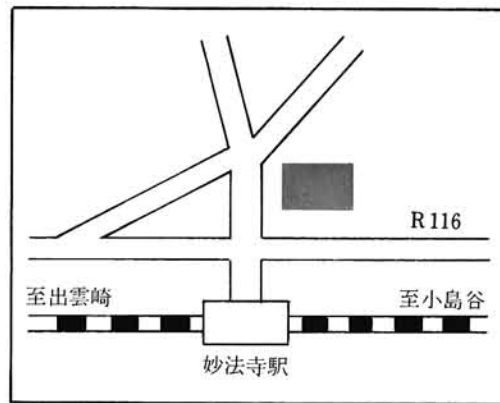
越後島田郵便局 新局舎完成!!

かねてより工事が進められていた越後島田郵便局が昨年十一月二十六日完成し十二月二日から新局舎で業務を開始されました。

前局舎は昭和三十三年八月建てられ二十八年間、妙法寺の駅前で地域住民のためにサービスを行ってきたが老朽化の為に今回モダンなモルタル平屋建てで移転新築となったものです。



☆ スポット ☆



新一年生の健康診断実施!

昨年十一月二十一日桐島小学校、二十二日島田小学校で新一年生の健康診断が行われ、普段は元気なわんぱく達も先生の前では少々緊張済み。これは学校



保健法にもとづくもので身体、視力、歯などの検査が行われました。皆さんかせなどひかぬよう体に気をつけて四月元気に入学しましょう。



虫歯は無いかな?

笑顔の家庭に良い子が育つ

☆ ワシマ ☆



大倉修吾講演会

去る十一月十五日(金) 商工会青年部、婦人部によるBSNラジオ、ミュージックポストの司会者でおなじみの大倉修吾さんを迎えて、「私の放送人生」と題して講演会が商工会の活性化と村おこしの一環として開催されました。

当日は三百名程の方が参集され、方言たっぷりのユーモアな話に多少の寒さものとせず会場は割れんばかりの笑いの渦に つつまれていました。

ありがとうの気持ちでした

共同募金九九四、五七九円

十月一日から実施致しました赤い羽根共同募金につきまして、区長さんはじめ、事業所、学校、村民の皆さんのご協力により別表の実績をあげることができました。厚くお礼申し上げます。募金は、新潟県共同募金会へ納入し、六十一年度に募金の配分金が和島村社会福祉協議会に、約七十七万円交付され、本村社会福祉の財源として活用されます。

○戸別募金 六九九、〇九〇円
○事業所募金 二一九、〇〇〇円
○学校募金 三一、四七九円
○その他 四五、〇一〇円

村長室の黒板から 和島村長 浅生 啓

- 十一月十五日 降雨止らず 西山バイパス開通
- 十八日 行革推進本部会議
- 十九日 農業団体との意見交換会主宰
- 二十日 今次災害に関し出席
- 二十一日 予算編成会議
- 二十四日 首都圏ふるさと
- 二十五日 三ヶ校PTA連
- 二十六日 上京 与板地区土木
- 二十七日 大蔵省農林省等へ
- 二十八日 全国町村
- 二十九日 全国町村
- 三十日 全国治水大会、災
- 三十一日 国保連理事
- 一月一日 国保連協

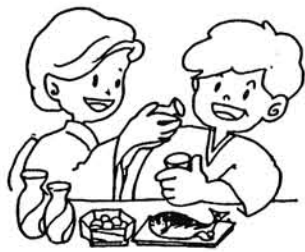
地域名	募金額(円)	地域名	募金額(円)
上小島谷	18,700	上 桐	52,250
中小島谷	23,650	三瀬ヶ谷	9,350
下小島谷	26,400	北 野	25,850
駅 前	59,400	根 小屋	11,000
下 富 岡	30,800	荒 卷	30,250
若 野 浦	8,250	新 田	13,750
アミダセ	17,050	中 央	22,000
高 畑	12,100	下 町 上	28,050
日 野 浦	26,400	下 町 下	34,650
中 沢	30,800	川 端	20,350
梅 田	11,000	道 城 下	18,150
東 保 内	36,300	法 善 町	12,650
村 田	37,990	寺 町	13,750
城 之 丘	22,550	小 谷	4,400
両 高	33,000		
坂 谷	8,250	小 計	296,450
小 計	402,640	合 計	699,090

お知らせ広場

郵便局からの お知らせ

昭和61年1月1日から預貯金利子非課税制度が変わり、郵便貯金を利用される際は本人であることの確認できる書類（住民票の写し、健康保険証、年金手帳、運転免許証など）の提示が必要となります。その際、全国どこでも通用する預金者ご本人であることを証明した「郵便貯金ご利用カード」を作りますので次回からは、本人の証明書の代りに使用できます。なお、郵便貯金は、今までどおりマル優（非課税貯蓄申告書）の申告は必要ありません。詳しいことは郵便局までお尋ね下さい。

忘れていませんか 公給領収証



料理飲食等消費税

公給領収証を受けとりましょう

昭和六十一年度の幼稚園の入園についてお知らせいたします。

◆入園できる子供さんは
昭和五十五年四月二日～昭和五十六年四月一日までに生まれた子供さん

◆受付期間は
一月十六日～一月三十一日まで

◆提出場所は
和島村教育委員会へ
入園願の用紙と幼稚園に関する説明書は保育所を通じて子供さんの家庭へお届けいたします。

不明な点は、次へ
○教育委員会 七四―三二―一
○幼稚園 七四―三六六―八

和島幼稚園 入園願のお知らせ

新潟県が立県百年の記念事業として、編さんを進めている「新潟県史」は、昨年度に続いて、昭和六十一年三月に二巻が刊行されます。

刊行予定の二巻は、通史編の第一冊目を飾る原始古代と、資料編の最後に当る文化財編です。二冊とも図版・写真を豊富に取揃えた親しみ易い県史です。昨年度までに刊行された二十三巻も御高評を得て、県内外の方々に愛読されています。

この機会に多くの皆様の御購読をお勧めします。

◆今回刊行巻の頒布価格
資料編二四 民俗・文化財三

新潟県史刊行の御案内

予約募集中

文化財編 四、七〇〇円
通史編一 原始・古代 三、六〇〇円
（送料別）

◆申込先
新潟市新光町四番地一
新潟県総務部県史編さん室
電話（代）八五―五五一―
（内）二一〇―

◆申込方法 官製はがきに住所・氏名・購入巻名・冊数・公私用別・電話番号などを記入して、お申し込みください。

トキ保護募金に 御協力を

目的…トキを、絶滅から救うため中国における野生トキの生息環境や施設の整備、研究活動等に協力することを目的とする。

方法…一口一、〇〇〇円。ただし、二口以上の方には記念として次のとおりトキの写真を送付する。

〇二口以上 キヤビネ版一枚
〇五口以上 キヤビネ版二枚

期 間…昭和六十年十月一日から昭和六十一年六月三十日まで

振込口座…
加入者 新潟県トキ保護募金実行委員会
口座名 北越銀行県庁支店普通預金一三四〇八九

照会先…
新潟県トキ保護募金実行委員会事務局
電話 〇二五―二八五―五五
一一 内線二六九七
千九五〇

新潟市新光町四番地一
新潟県環境保健部
環境保全課内

農業委員会委員選挙人名簿登載 申請書の提出について



農業委員会では「やめよう！ ヤミ小作・進めよう！ 利用権設定」を合言葉に利用権設定等促進事業による貸借を進め、安定的な利用関係を保ち健全な農業経営が出来るよう掘り

毎年、一月一日現在による農業委員会委員選挙人名簿登載申請書を農業委員会まで提出しなければなりません。

次の事項に該当する方は、一月十日までに提出してください。

- 一、和島村農業委員会の区域内に住所を有する者であること。
- 二、年齢が満二十歳以上の者であること。三月三十一日現在（昭和四十一年四月一日生れまで）二十歳に達する者も記入してください。
- 三、十アール（一反歩）以上の農地につき耕作の業務を営む者。
- 四、耕作従事日数が年間おおむね六十日以上の方。
- 五、申請書の記入事項はすべて昭和六十一年一月一日現在の状況を記入すること。

以上申請書の裏面にも記載してありますが、不明な点は農業委員会にお問い合わせください。

起こしを行っていますので御協力くださいますようお願いいたします。

なお、農地の問題は最寄りの農業委員が直接役場農業委員会に御相談ください。

1月の心配ごと相談

日 時…16日、25日
午前9時から午後3時まで。（25日は正午まで）

場 所…福祉センター老人室

内 容…生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金相談・身障相談・職業相談・その他なんでも

作業停電

日 時/1月29日(休)
午前9時から午後1時まで

区 域/落水の全部
城之丘、村岡の一部
（落水線1号～末端 妙法寺線115号）

新潟県最低賃金

昭和60年10月4日から、新潟県内で働くすべての労働者は、

1日 3,367円
（ただし、時間給の労働者は1時間421円）
となります。

- 使用者は、最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければなりません。
 - 最低賃金には、賞与等の臨時に支払われる賃金・精皆勤手当・通勤手当・家族手当ならびに時間外労働、休日労働および深夜労働に対して支払われる割増賃金は算入されません。
 - 新潟労働基準局長の許可を受けた場合には、最低賃金の適用除外が認められます。
 - 詳細は、新潟労働基準局賃金課又は最寄りの労働基準監督署へお尋ね下さい。
- 新潟労働基準局・労働基準監督署

おかあさん わすれちゃダメよ！

—保健衛生行事—（1月）



月	日	曜	種 目	対 象	時 間	場 所
1	10	金	精神衛生相談会	心の病気で悩みの方及び家族	午後1時30分～3時	福祉センター
	21	火	リハビリ訓練	希 望 者	午後1時～3時30分	〃

ストーブの上で洗濯物を干すのはやめましょう

ストーブの移動は火を消してから